若葉ゆめの園通信

０１２
２０１９年3月
発行者
総合ケアセンター　若葉ゆめの園
板橋区若木3-15-1

節分の鬼が多数出現！

創刊7周年

いつも「若葉ゆめの園通信」をご覧いただきまして、まことにありがとうございます。昨年4月より発行をはじめまして、この号でちょうど1年が経ちました。拙い文章で皆様には読みづらい部分もあるかと思いますが、著者兼編集者が1年間続けられたのはことは非常に嬉しく思っております。また懲りずにお読みいただいている皆様に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。

今後も若葉ゆめの園の活動の様子やクスッと笑えるような小話も含め若葉ゆめの園の成長と楽しさをお伝えできるように精進してまいりたいと思いますので、引き続きご愛顧いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、今までこの通信の著者の正体を明かしてまいりませんでしたが、今後、ちょっとずつヒントを出して参りますので、お分かりになった方はぜひとも激励の一言を頂ければ幸いでございます。

褒められると伸びる
筆者より

節分

こちら事件現場です！なんと若葉ゆめの園に日本中？の鬼が多数出現いたしました。可愛い鬼から迫力満点の鬼まで…。しかし、入居者様とご利用者様の鬼にも負けない攻撃力で見事、退治いたしました。それでは、そのご様子をお伝えしましょう！

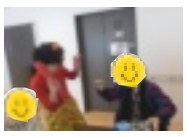
まずは、特養2階に現れた鬼は、顔はかわいいがモップを持ったお掃除が大好きな鬼が現れました！ここの入居者様は皆様心優しい方が多くて、「かわいそうよ」とおっしゃってなかなか退治してくれません…。しかし、ある方が口火をきると…たちまち皆様に火が付いたのか一斉攻撃！終始笑顔で余裕の勝利です！

次に現れたのは、特養3階です。なんとここに現れた鬼は、とってもフレンドリーなイケメンの鬼です。退治するどころか特に女性にとても人気者で一緒に写真撮影をする

という異常事態です！鬼との平和的な解決をいたしました。なんと素晴らしい光景でしょう。戦うだけが解決方法ではないということ教えられたような気がします。

そして特養4階には本格的？な鬼が現れました。鬼のパンツまではいた怖い鬼がやってきました。どうもこの鬼は職員にのりうつっているようです…これでは若葉ゆめの園に災いが起こってしまいます…。それとのりうつられた職員を救わなければ…。

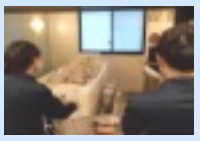
皆様一致団結して、鬼を懲らしめます。笑顔で余裕な方もいましたが、まさにこれこそ「鬼の形相」という表情で一生懸命退治していただきました。どちらが鬼か分かりません！しかし、見事に退治しました。そしてのりうつられた職員も無事に元に戻ったそうです。めでたしめでたし。



今年も無病息災、元気に笑顔で過ごしてまいりましょう。皆様に禍が来ますように…。

職員研修

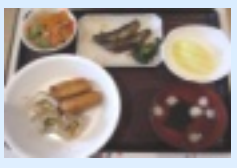
介護技術研修を行いました。今回は、寝たきりの方のための寝台浴槽での介助の普段から使用して学びました。行っている介助方法について、改めて基本と他の職員のケアの良いところや難しいところお互いに共有することができました。



また、お体の不自由な方の移乗介助についても研修を行いました。ご入居者様の安全はもちろん介護する人間も無理のないようにケアしなければなりません。そのケア方法を学びました。来年度も研修を通して、知識・技術・意識を磨いていきます。

今月のお食事紀行

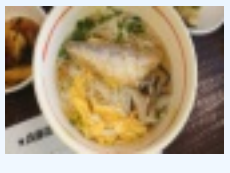
2月3日は節分の日。昼食は稲荷ずし、サーモンロール、いわしの生姜煮、大豆の煮もの、お吸い物、果物というメニューでした。節分にイワシを食べるのは、縁起がいいそうです。イワシは「鰯」と書くように「弱し（よわし）」という語源があり、これを食べると弱さや卑しさに負けない強い心を持つと言われているそうです。（諸説ありますが）本当は焼くのがいいらしいのですが…（イワシは焼くと独特の臭いで魔除けになるそうです）イワシは「弱い」と書きますが、とても



栄養価の高い魚です。あとは何といっても大豆料理も欠かせないですね。そんな栄養価の高くて縁起のいいお食事でした。

2月14日の昼食は駅弁シリーズ横浜駅の「しゅうまい弁当」でした。たっぷりしゅうまいが入って、から揚げまでついて御飯のお供としては最高の組み合わせです。いつもよりごはんが食べれてしまうそんな駅弁メニューでした。横浜駅で有名なのは、なんといっても「崎陽軒」さんのしゅうまい弁当です。シンプルなのに飽きのこない味に感動ですね。

2月20日には兵庫県の郷土料理「鯛めん」が昼食でした。「鯛めん」は、南あわじ市で結婚式や棟上げ式、お祝いの席などのお祝いの時に食べる郷土料理で、鯛からとったダシの中に丸ごと揚げた鯛と淡路の郷土料理の手延べそうめんが入った郷土料理です。また、鯛めんは瀬戸内海に隣接する愛媛県、香川県など様々な地域で存在しますが、調理方法や味付けはそれぞれの地域で異なります。

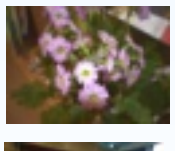


若葉ゆめの園
鯛めん

肉厚の鯛が上に乗り、お出汁の効いた手延べそうめんがのどごしが良く、とても旨味のある郷土料理でした。来月も楽しみです。

さくら草まつり

3月3日、地区の若木小学校で行われた第31回「中台地区さくら草まつり」に当法人の理事長がご招待を受け、お邪魔しました。地区の方々や小中学校などで育てたさくら草を展示する歴史あるお祭りです。あいにくの大雨でしたが、可愛い花をつけたさくら草が春の到来を感じさせてくれます。今後も地域との交流を積極的に行っていきたいと思っております。頂いたさくら草は受付に飾ってありますのでぜひともご覧ください。



続・節分特集

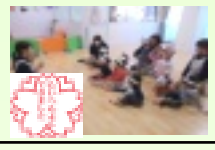
大変です！デイサービスやショートステイ、保育所まで鬼が襲来しているようです！引き続き、現場から鬼の様子をお伝えします！

デイサービスにも動きの素早い鬼が出現しました。デイサービスのご利用者様は、普段から体操やリハビリに日々、取り組まれている力を発揮して、鬼に力強く豆を投げて頂きました。カラフルな紙で作った手作りの豆で応戦しました。皆様、「福は内、鬼は外」の声をだしながら鬼退治していただきました。

ショートステイにはかわいい赤鬼と青鬼が出現しました。最後は笑顔で鬼たちと記念撮影するという微笑ましい光景でした。

赤鬼・青鬼と
にっこり

保育所には、世界一かわいい小さな鬼さんたちが大集結しました！みんなで手作りの鬼のお面をかぶり、まずは節分についてのお話を集中して聞き、お勉強する真面目な鬼さんたちです。その後豆を持っていると鬼の親分が保育室に



やってきて、小さい鬼さんたちははビックリ！訳が分からず立ち尽くす子や号泣しながら保育士さんにしがみつく子や泣きながらも鬼退治する子など、みんなそれぞれ頑張りました。

最後は甘納豆を食べて、おやつは栄養課さん手作りの鬼蒸しパンとっても美味しく頂いて、鬼退治ができました。

若葉ゆめの園にはたくさんの鬼が出現しましたが、皆様と厄を退治しました。皆様が、健やかに過ごされることを切に願うばかりです。今号は、節分づくしの記事でした。

春の訪れ

まずはお知らせです。

前号で、若葉ゆめの園はインフルエンザ等の感染症予防対策として面会等の来園の自粛をお願いしておりましたが、収束に向かいましたので解除いたしました。

今後も消毒とマスクの着用、体調不良時の面会自粛の感染予防対策のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

まだまだ肌寒い季節が続きますが、確実に春はそこまで近づいております。花粉症の方々は、自らの鼻と目で十分、春の訪れを身をもって感じてらっしゃるはずです。若葉ゆめの園の敷地内も木々がたくさんあり、お花も咲き始めています。3月終わりぐらいには桜も咲き始めます。まだ肌寒いですが、天気の良い日はぜひともお散歩コースをご利用ください。

3月3日は「ひな祭り」でした。若葉ゆめの園エントランスにはご寄付いただいた立派なお雛様飾りを飾ってあります。ですが…わが事務所女性職員総動員で4日あさイチから片づけ始めています…。諸説、片付けが遅れるとご縁が遠のくなんてありますが…。お年頃の職員の多い若葉ゆめの園ですので…。気になるのでしょうか…。この光景を毎年見ると春が近い…と思います。

施設からのご案内

板橋区在住の皆様へのお知らせです。

若葉ゆめの園では施設（ホール・会議室・ミニ球技場）の一般貸し出し（登録制・有料※免除制度あり）をしています。先行予約等も行っていますのでぜひご利用ください。詳しいことは、若葉ゆめの園事務所まで。

施設・球技場　先行予約日程

4月の先行予約は…

3月5日（火）17:00

若葉ゆめの園　エントランス

次回は4月2日

【お問い合わせ】
総合ケアセンター　若葉ゆめの園
０３－３９３５－５７８０

★特養への入所、障がい施設などの申し込み・相談・見学
★施設の貸し出し利用、お問い合わせ